

10月1日からの

乳・子の医療証を送付します

乳幼児医療証、義務教育就学児医療証が10月1日から更新されます。

新しい医療証(若草色)を9月下旬に送付しますので、10月1日以降は新しい医療証を医療機関に提示してください。

有効期間の過ぎた医療証は、子育て推進課へ返却してください。

なお、健康保険証、住所等が変わった場合は、変更の届け出が必要です。

現在、医療証をお持ちでない方は、申請が必要です。申請方法等は、子育て推進課へお問い合わせください。

問い合わせ 子育て推進課助成係

子育てひろば・とことこベビーマッサージ

スキンシップでママと赤ちゃんの絆を深めましょう。

日時 9月20日(木) 午前11時~11時45分

※子育てひろばは10時~午後3時

会場 下長瀬自治会館2階大広間

対象 生後3か月~10か月の親子

※前日に予防接種を受けておらず、翌日に予防接種を予定していないお子さん

講師 RTA認定講師 西村美紀氏

定員 先着5組

費用無料 直接会場へ

問い合わせ 長瀬保育園 富樫 22-8102、市子ども家庭支援課支援係

ご参加ください プレママクラス(母親・両親学級)

健康センターでは、安心して出産・子育ての準備ができるように、プレママクラス(母親・両親学級)を開催しています。

ご夫婦での参加、希望する内容のみの参加もできますので、気軽にご参加ください。

対象 妊娠20週前後以降の安定期に入っている妊婦と夫

会場・申し込み 電話 23-2191で健康センターへ

Table with 3 columns: 日程, 時間, 内容. Rows include dates from 10/15 to 11/10 and topics like orientation, dental health, and breastfeeding.

※服装...10月15日はストレッチができる服装、11月10日は腕まくりができる服装(ベビーバスにお湯を張って赤ちゃん人形をお風呂に入れます)

※持ち物...はじめまして赤ちゃん~ママ・パパに向けてのサポートブック~

子育て中の皆さんへ

「ゆめうめちゃんの子育て・予防接種ナビ」

10月1日から、スマートフォン等からインターネットを利用して子育てに必要な情報を入手できる、青梅市子育てアプリ「ゆめうめちゃんの子育て・予防接種ナビ」を開発します。

これに先立ち、ウェブサイト https://ome.city-hc.jp/ を仮オープンしますので、ぜひお試しください。



※利用登録は9月20日から ※登録料・利用料は無料、通信料は利用者負担

問い合わせ 市子ども家庭支援課支援係▷予防接種、健診に関すること...健康課母子保健係

養育家庭(ほっとファミリー)体験発表会

親の虐待や病気など、さまざまな事情で家族と暮らすことのできない子どもたちがいます。

こうした子どもたちを家庭に迎えて育てるのが「里親」で、その中でも、養子縁組を目的とせず子どもを育てる家庭を「養育家庭」といいます。

養育家庭のことを知っていただくために、養育家庭の方による体験発表会を行います。ぜひお越しください。

日時 10月10日(水) 午後1時30分~3時30分 会場 市役所2階会議室

入場無料

その他 託児あり(若干人・10月2日までに電話で子ども家庭支援課へ)

共催 青梅市子ども家庭支援センター、立川児童相談所 直接会場へ

問い合わせ 市子ども家庭支援課

ゴックンクラス(離乳食教室・初期)

日時 10月5日(金) 午前10時~11時30分

会場 健康センター2階

対象 4~5か月児と保護者

内容 離乳食の始め方、この時期の離乳食の作り方の説明・試食

定員 先着20組(予約制)

費用 1組100円

持ち物 バスタオル、ミルク(お湯も含む)、おむつなど、外出時に必要なもの

キッズクラス(幼児食教室)

骨の成長期に必要なカルシウムが簡単にとれるメニューです。

日時 10月11日(木) 午前10時~正午

会場 東青梅市民センター料理教室

対象 2~5歳児の保護者

※原則として保護者を対象とする教室ですが、親子での参加を希望する方は、申し込み時にお伝えください。

内容 調理実習(お好み焼き、フルーツヨーグルト)

指導 管理栄養士

定員 先着20人(予約制)

費用 1人400円

持ち物 エプロン、バンダナ(三角巾)、手拭き、布巾、ウエストポーチ等、甘くない飲み物(麦茶等)

※食品衛生上、調理したものを持ち帰ることはできません。その他 託児あり

いずれも

申し込み 9月18日から電話 23-2191で健康センターへ

妊婦健康診査を受けましょう

妊婦健康診査(妊婦健診)は、妊婦にとって大切な健診です。市では、妊婦健診費用の一部を助成しています。制度を利用し、安心して出産できるように、定期的に妊婦健診を受けましょう。

妊婦が確認されたら妊娠届(健康センターで配布)を提出してください。

母子健康手帳を交付するとともに、妊婦健診受診票(14回分)、超音波検査票および子宮頸がん検診受診票(各1回分ずつ)をお渡しします。

また、その際に、保健師や助産師などの専門の母子保健コーディネーターが体調や心配事などをお聞きし、妊婦一人ひとりの状況に合わせた情報提供やアドバイスを行います。

妊婦健康診査(妊婦健診)は、妊婦にとって大切な健診です。市では、妊婦健診費用の一部を助成しています。制度を利用し、安心して出産できるように、定期的に妊婦健診を受けましょう。

妊婦が確認されたら妊娠届(健康センターで配布)を提出してください。

母子健康手帳を交付するとともに、妊婦健診受診票(14回分)、超音波検査票および子宮頸がん検診受診票(各1回分ずつ)をお渡しします。

また、その際に、保健師や助産師などの専門の母子保健コーディネーターが体調や心配事などをお聞きし、妊婦一人ひとりの状況に合わせた情報提供やアドバイスを行います。

妊婦健康診査(妊婦健診)は、妊婦にとって大切な健診です。市では、妊婦健診費用の一部を助成しています。制度を利用し、安心して出産できるように、定期的に妊婦健診を受けましょう。

妊婦が確認されたら妊娠届(健康センターで配布)を提出してください。

母子健康手帳を交付するとともに、妊婦健診受診票(14回分)、超音波検査票および子宮頸がん検診受診票(各1回分ずつ)をお渡しします。

また、その際に、保健師や助産師などの専門の母子保健コーディネーターが体調や心配事などをお聞きし、妊婦一人ひとりの状況に合わせた情報提供やアドバイスを行います。

妊婦健康診査(妊婦健診)は、妊婦にとって大切な健診です。市では、妊婦健診費用の一部を助成しています。制度を利用し、安心して出産できるように、定期的に妊婦健診を受けましょう。

妊婦が確認されたら妊娠届(健康センターで配布)を提出してください。

母子健康手帳を交付するとともに、妊婦健診受診票(14回分)、超音波検査票および子宮頸がん検診受診票(各1回分ずつ)をお渡しします。

また、その際に、保健師や助産師などの専門の母子保健コーディネーターが体調や心配事などをお聞きし、妊婦一人ひとりの状況に合わせた情報提供やアドバイスを行います。

頸がん検診も、受診票があれば、各1回分が助成の対象になります。

※助産所での超音波検査と子宮頸がん検診は対象外です。

助成金額 次の金額を上限とする受診・検査の実費

▽妊婦健診 受診日が平成30年3月31日まで:1回目・9千680円、2~14回目・各回5千160円

☆受診日が30年4月1日以降:1回目・1万850円、2~14回目・各回5千70円

※30年4月以降は、妊婦健診2回目以降に実施していたC型肝炎検査を1回目に行うため、金額が変更されました。

申請期限 出産日・流産・死産の場合は、妊婦健診を最後に受診した日から1年以内

問い合わせ 健康センター 23-2191

▽超音波検査:5千300円

▽子宮頸がん検診:3千400円

申請方法 母子健康手帳、妊婦健診が確認できるとき受診先の領収書(確認・コピーして返却します)、未使用の妊婦健診・超音波検査・子宮頸がん検診受診票、振り込み口座の銀行名・番号等の分かるもの、印鑑(朱肉を塗るもの)を持って健康センターへ

申請期限 出産日・流産・死産の場合は、妊婦健診を最後に受診した日から1年以内

問い合わせ 健康センター 23-2191

▽超音波検査:5千300円

▽子宮頸がん検診:3千400円

申請方法 母子健康手帳、妊婦健診が確認できるとき受診先の領収書(確認・コピーして返却します)、未使用の妊婦健診・超音波検査・子宮頸がん検診受診票、振り込み口座の銀行名・番号等の分かるもの、印鑑(朱肉を塗るもの)を持って健康センターへ